

県立ミュージアムズ連携企画
ミュージアムのミステリー
Prefectural Museum Collaborative Project: The Mystery of the Museums
2026年6月6日(土) - 9月13日(日)

＼ 本展限定キャラクターの名前を大募集！ ／

展覧会に合わせて、JR西日本の「さわやかマナーキャンペーン」などでおなじみの、アーティスト/イラストレーターのmakomoさんによる**展覧会限定キャラクターが誕生！**
名前が採用された方には、楽しい♪うれしい♪プレゼントを贈呈🎁
皆さまの応募をお待ちしています♪



個性豊かな7館の7つのキャラクターが、展覧会の魅力をたっぷりご紹介します。

募集要項

- 【応募期間】 2026年5月13日（水）18:00まで
- 【結果発表】 2026年6月初旬に美術館HPで発表予定
- 【応募資格】 どなたでも
- 【賞品】
ミュージアムのミステリー展招待券2枚、展覧会限定グッズ
- 【応募フォーム】
<https://forms.gle/jVJYgfhX18NHuEhU9>

※注意事項等、詳細は応募フォーム
画面にてご確認ください。



＼ チラシビジュアル完成しました！ ／



※チラシ画像ダウンロードは p.5 へ

＼ 本展限定！各館のキャラクターをご紹介します！ ／

<p><u>兵庫県立考古博物館加西分館 古代鏡展示館</u></p>   <p>《四神十二支紋鏡》隋（6～7世紀）</p> <p>兵庫県が誇る古代中国の銅鏡コレクションを持つ「古代鏡展示館」の300点を超える古代鏡がモデルです。</p>	<p><u>兵庫県立人と自然の博物館</u></p>   <p>「コウベタヌキノシヨクダイ」の写真</p> <p>絶滅したと思われていましたが、2023年に30年ぶりに兵庫県内で再発見された植物「コウベタヌキノシヨクダイ」がモデルです。</p>
<p><u>兵庫陶芸美術館</u></p>   <p>丹波《壺》室町時代後期</p> <p>日本六古窯のひとつとして有名な丹波焼の壺。表面の模様は、窯で焼いたときに薪の灰が降り注ぎ溶けて流れたあと。実は死者の骨を入れる容器です!?</p>	<p><u>兵庫県立美術館</u></p>   <p>ルドン、オディロン《そして顔のない目が軟体動物のように浮んで……》1896年</p> <p>ルドンの版画がモデルです。不思議で少し不気味なたちから、目玉のトカゲが生まれました。あれは目なのか口なのか!?</p>
<p><u>兵庫県立歴史博物館</u></p>   <p>《播磨国総社三ツ山祭礼図屏風》江戸時代 兵庫県指定文化財</p> <p>いたてひょうす 姫路市の射楯 兵主神社で20年ごとに開催されるお祭りの時に作られる大きな3つの造り山（三ツ山）がモデルです。次の開催は令和15(2033)年です。</p>	<p><u>横尾忠則現代美術館</u></p>   <p>横尾忠則 《トイレ内のミステリー "Y"》1995年</p> <p>兵庫県を代表するアーティストのひとりである横尾忠則さんの作品がモデルです。とても個性的で、色使いも描き方も内容も面白い横尾さんの魅力を表現しています。</p>
<p><u>兵庫県立考古博物館</u></p>   <p>《池田古墳水鳥形埴輪》古墳時代 国指定重要文化財</p> <p>但馬地域で最も大きな前方後円墳「池田古墳」から出土した水鳥の形をした埴輪がモデルです。池田古墳では全国で最も多い24体もの水鳥形埴輪が見つかっています！</p>	<p>makomo （アーティスト、イラストレーター）</p> <p>JR西日本の「さわやかマナーキャンペーン」などでおなじみの、アーティスト/イラストレーター。ニヤニヤできる『ちょっとだけおもしろい』にこだわった絵で、本の挿画や店舗キャンペーンヴィジュアル、キャラクターデザインなどを手掛ける。年に数度の個展では『だれでも描けるだれも見てなかった絵』をテーマに絵画作品の発表を続けている。 www.makomo.jp</p>

本展の見どころ

！ 兵庫県下の7つのミュージアムのコレクションが大集合！

兵庫県立ミュージアムから、**兵庫県立歴史博物館**（姫路市）、**兵庫県立人と自然の博物館**（三田市）、**兵庫県立考古博物館**（加古郡播磨町）と加西分館 **古代鏡展示館**（加西市）、**兵庫陶芸美術館**（丹波篠山市）、**横尾忠則現代美術館**（神戸市）と**当館**（神戸市）の7つのミュージアムのコレクションが集まります。ジャンルを超えて、様々なコレクションが一目に見られる、またとない機会です！

？ ミュージアムに潜む様々な「ミステリー」を解明

謎に満ちた各館の魅力的なコレクションの紹介はもちろん、「ミュージアムってなに？」という疑問まで、さまざまな謎を発見し、解き明かす場をつくります。ミュージアムに関心のある方はもちろん、ミュージアムは初めてというすべての方への最初の一步となる展覧会を目指します。

！? 子どもも大人も楽しめる、イベントや展示が盛りだくさん

展示室内には子どもたちが参加できるワークショップスペースをつくるほか、関連イベントでは子ども向けだけでなく、専門的な話が聞ける大人向けイベントも行います。

開催概要

「ミステリー」という言葉には、「神秘的なこと」「不可思議」「謎」「怪奇」などの意味があり、それらはいずれも人間の好奇心を刺激し、魅了してやまないものです。ミュージアムの作品や資料には、ミステリアスな要素を含むものが多く、人々にさまざまな問いを投げかけます。また、ミュージアムの活動は一般の来館者の目に触れない部分が多く、謎に包まれている施設のひとつといえるでしょう。

兵庫県には多くのミュージアムがあり、それらは「五国」とよばれる5つの地域に分散し、それぞれ特色ある事業を展開しています。今回は、全県に散在する県立ミュージアムの中から、合計7館のコレクションをショウケース的にとりあげ、その魅力に迫ります。

本展が、兵庫県の各ミュージアムを訪れるきっかけとなるとともに、子どもから大人まで、誰もが県立美術館の魅力に触れ、親しむ機会となることを願っています。

関連イベント

■記念講演会

出演：平田オリザ氏（芸術文化観光専門職大学学長）

日時：6月21日(日) 14:00～15:30

会場：KOBELCO ミュージアムホール

定員：150名 ※先着順、要観覧券、

「芸術の館友の会」会員優先座席あり

■講演会

出演：香川雅信氏（兵庫県立歴史博物館学芸課長）

日時：7月19日(日) 14:00～15:30

会場：KOBELCO ミュージアムホール

定員：150名 ※先着順、要観覧券、

「芸術の館友の会」会員優先座席あり

内容：妖怪の研究で有名な香川氏に、妖怪と美術についてお話しいただきます。

■こどものイベント

日時：6月、7月、9月の各月1日ずつ

※詳細は美術館 HP 等でお知らせします。

■学芸員によるミステリー・トーク

日時：6月13日(土)、7月11日(土)、8月15日(土)

いずれも16:00～16:30

会場：レクチャールーム

定員：80名 ※先着順

■ミュージアム・ボランティアによる解説会

日時：会期中毎週日曜日11:00～11:15

会場：レクチャールーム

定員：80名 ※先着順

■ゆっくり解説会 in Summer

展覧会の見どころを手話通訳および要約筆記付きで解説します。

日時：7月12日(日)13:30～14:25

会場：レクチャールーム

定員：60名 ※先着順

※詳細および追加イベントの予定は決定次第、美術館ホームページ等でお知らせします。

同時期開催の展覧会

コレクション展Ⅰ
中原佑介の言葉—コレクションを見るあたらしい眼
2026年4月28日（火）－ 9月23日（水・祝）

Ando Gallery
入場無料

横尾忠則現代美術館での同時期開催の展覧会

横尾忠則 連画の河
2026年5月23日（土）－ 8月30日（日）

開催概要

展覧会名 県立ミュージアムズ連携企画 ミュージアムのミステリー
Prefectural Museum Collaborative Project: The Mystery of the Museums
会 期 2026年6月6日（土）－ 9月13日（日）
開館時間 10:00－18:00 ※入場は閉館の30分前まで
休 館 日 月曜日（ただし7月20日（月・祝）は開館、翌21日（火）は休館）
会 場 兵庫県立美術館 1階展示室

主 催 兵庫県立美術館、公益財団法人兵庫県芸術文化協会、神戸新聞社
後 援 NHK神戸放送局、ラジオ関西、サンテレビジョン
協 賛 公益財団法人伊藤文化財団、一般財団法人みなと銀行文化振興財団
特別協力 公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部
協 力 兵庫県立歴史博物館、兵庫県立人と自然の博物館、兵庫県立考古博物館、
兵庫県立考古博物館加西分館 古代鏡展示館、兵庫陶芸美術館、横尾忠則現代美術館
助 成 日本芸術文化振興基金



観覧料

	当日券	団体料金	前売券(6/5まで)
一般	1,500円	1,300円	1,300円
大学生	1,000円	800円	800円
高校生以下	無料	—	—
70歳以上	750円	650円	—
障害者手帳等をお持ちの方（一般）	350円	300円	—
障害者手帳等をお持ちの方（大学生）	250円	200円	—

- ・前売販売期間：4月1日（水）～ 6月5日（金）まで（会期中は販売しません）
- ・一般以外の料金でご利用される方は証明書を観覧当日ご提示ください
- ・障害者手帳等をお持ちの方1名につき、介助者1名無料
- ・団体鑑賞（20名以上）でご鑑賞いただく場合は1ヶ月前までにご連絡ください
- ・コレクション展は別途観覧料が必要です（本展とあわせて観覧される場合は割引があります）
- ・**ひょうごプレミアム芸術デー期間中（2026年7月9日（木）～7月15日（水））は入場無料**

※前売券（販売期間4/1～6/5）および当日券はプレミアム芸術デー期間中（7/9～7/15）はご利用いただけません。

[主なチケット販売場所]

チケットぴあ(Pコード：687-446)、ローソンチケット(Lコード：51432)、CNプレイガイド、
イープラス、セブンチケット(セブンコード：115-066)、アンビュー！、ミュージアムショップ(一般前売券のみ)

交通案内

- ・阪神「岩屋駅（兵庫県立美術館前）」から徒歩約8分
- ・JR神戸線「灘駅」南口から徒歩約10分
- ・阪急神戸線「王子公園駅」西口から徒歩約20分
- ・JR「三ノ宮駅」から神戸市バス「101系統」「29系統」にて約15分
「県立美術館前」下車すぐ
- ・地下駐車場（乗用車80台収容・有料）
※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください。



「県立ミュージアムズ連携企画 ミュージアムのミステリー」 広報画像ダウンロードのご案内

本展では、オンラインでご利用いただける、広報用ダウンロードシステムをご用意しております。本リリースに掲載している画像のうち以下の図版については、下記の URL にアクセスしていただきお申込みください。(※初回のみご登録が必要です。)

https://www.artpr.jp/hyogo_pref_museum_of_art/mystery2026



1.	東山魁夷《森の幻想》1971年 兵庫県立美術館
2.	元永定正《ヘランヘラン》1975年 兵庫県立美術館 ©Motonaga Archive Research Institution Ltd.
3.	谷原菜摘子《創世記》2021年 兵庫県立美術館
4.	藪内佐斗司《犬モ歩ケバ》1989年 兵庫県立美術館
5.	横尾忠則《二つの叫び》1996年 兵庫県立美術館
6.	横尾忠則《トイレ内のミステリー "Y"》1995年 横尾忠則現代美術館
7.	《池田古墳水鳥形埴輪》古墳時代 兵庫県立考古博物館 国指定重要文化財
8.	《陶製人形》古墳時代終末～古代 兵庫県立考古博物館
9.	珉平《色絵張子犬形香合》江戸時代後期～明治時代前期 兵庫陶芸美術館 田中寛コレクション
10.	秋永邦洋《擬態化(牛)》2016年 兵庫陶芸美術館
11.	狸の剥製 兵庫県立人と自然の博物館
12.	コウベタヌキノショクダイの標本 兵庫県立人と自然の博物館
13.	《播磨国総社三ツ山祭礼図屏風》江戸時代 兵庫県立歴史博物館 兵庫県指定文化財
14.	《百鬼夜行絵巻》(一部) 江戸時代 兵庫県立歴史博物館
15.	《四神十二支紋鏡》隋(6～7世紀) 兵庫県立考古博物館加西分館【古代鏡展示館】
16.	《雲龍紋八花鏡》唐(8世紀) 兵庫県立考古博物館加西分館【古代鏡展示館】
17.	チラシイメージ
18.	キャラクター集合イメージ

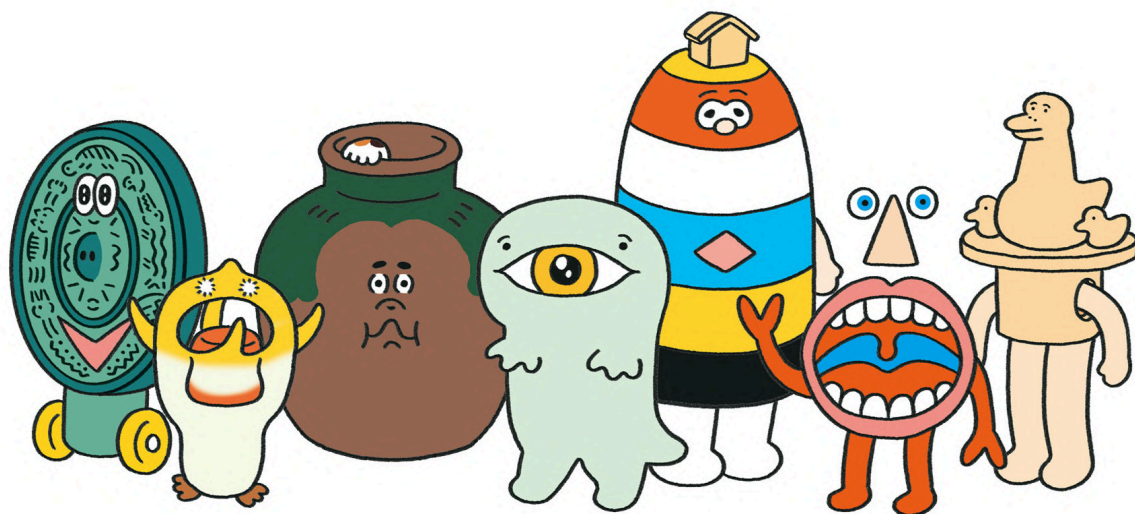
【 画像使用に際しての注意事項 】

◎「作家名」「作品名」「制作年」「所蔵先」「クレジット」などを明記してください。 ◎1～6、10、13、14の作品画像の加工（着色、トリミング、文字載せなど）はできません。 ◎基本情報、画像使用の確認のため、グラ・原稿の段階で「広報・営業担当」までお送りくださいますようお願いいたします。 ◎掲載媒体を1～2部、もしくは URL、同録（DVD、CD）を「広報・営業担当」宛にお送りください。 ◎画像使用は本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。

特別展

ミュージアムのミステリー展
キャラクター名
大募集！

2026 4/22(水) >>> 5/13(水) 18:00



展覧会にあわせて7つのミュージアムの本展限定キャラクターが誕生しました！
それぞれのキャラクターの名前を募集します。

賞品

ミュージアムのミステリー展
招待券2枚・グッズ

 兵庫県立美術館
HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

応募はこちら！



あなたがキャラクターの名づけ親に！

兵庫県立考古博物館加西分館 古代鏡展示館



《四神十二支紋鏡》隋（6～7世紀）

兵庫県が誇る古代中国の銅鏡コレクションを持つ「古代鏡展示館」の300点を超える古代鏡がモデルです。

兵庫県立人と自然の博物館



「コウベタヌキノシヨクダイ」の写真

絶滅したと思われていましたが、2023年に30年ぶりに兵庫県内で再発見された植物「コウベタヌキノシヨクダイ」がモデルです。

兵庫陶芸美術館



丹波《壺》室町時代後期

日本六古窯のひとつとして有名な丹波焼の壺。表面の模様は、窯で焼いたときに薪の灰が降り注ぎ溶けて流れたあと。実は死者の骨を入れる容器です！

兵庫県立美術館



ルドン、オディロン《そして顔のない目が軟体動物のように浮んで……》1896年

ルドンの版画がモデルです。不思議で少し不気味なかたちから、目玉のトカゲが生まれました。あれは目なのか口なのか!?

兵庫県立歴史博物館



《播磨国総社三ツ山祭礼回屏風》江戸時代 兵庫県指定文化財

いたてひょうず 姫路市の射楯兵主神社で20年ごとに開催されるお祭りの時に作られる大きな3つの造り山（三ツ山）がモデルです。次の開催は令和15(2033)年です。

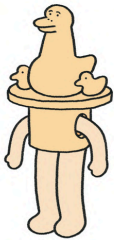
横尾忠則現代美術館



横尾忠則《トイレ内のミステリー》1995年

兵庫県を代表するアーティストのひとりである横尾忠則さんの作品がモデルです。とても個性的で、色使いも描き方も内容も面白い横尾さんの魅力を表現しています。

兵庫県立考古博物館



《池田古墳水鳥形埴輪》古墳時代 国指定重要文化財

但馬地域で最も大きな前方後円墳「池田古墳」から出土した水鳥の形をした埴輪がモデルです。池田古墳では全国で最も多い24体の水鳥形埴輪が見つかっています！

応募期間

2026年5月13日(水) 18:00まで

結果発表

2026年6月初旬に県立美術館HPで発表予定

応募資格

どなたでも

- ・応募する名前は、自作で未発表のものに限ります。
- ・1人何点でも応募できますが、1キャラクターにつき1つの名前の応募とします。
- ・応募に係る費用は応募者の負担とします。

注意事項

注意事項をご覧のうえ、表面QRコードを読み取り、ご応募ください。

- ・採用した名前（作品）は、「ミュージアムのミステリー展のキャラクター愛称」として、ミュージアムのミステリー展および兵庫県立美術館の広報活動等で使用します。
- ・採用作品への応募が複数名の場合は、抽選により採用者1名を決定します。
- ・応募作品は、補作（加筆・修正）を行ってうえで、採用とする場合があります。
- ・この応募資格に違反したものは、審査の対象となりません。後日違反が判明した場合は、採用を取り消すことがあります。
- ・採用の通知は採用作品の採用者のみに行います。また、審査や選定に関するお問い合わせには応じかねます。
- ・採用作品から生じる一切の権利（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は、本展実行委員会に帰属します。また、応募者は、採用作品に関する著作権等を行使しないものとします。
- ・応募作品の著作権等に関わる問題が生じた場合は、応募者の責任となります。
- ・応募に係る個人情報は、本事業に関する業務に限り使用するものとします。ただし、採用者の氏名・居住地区は、選考結果発表のために原則公表します。
- ・この注意事項に記載のない事項については、本展実行委員会の判断により決定します。
- ・今回の応募をもって、この注意事項に同意したものとみなします。

連絡先

ミュージアムのミステリー展実行委員会（兵庫県立美術館）
メール：museum_@artm.pref.hyogo.jp